

## 学位論文審査の結果の要旨

上原一貴

本研究は、サメの有効利用を目的とし、魚体の約50%を占める肉の特性を解析し、その利用法について検討したものである。サメ肉は、筋肉部分である筋肉タンパク質（アクチン・ミオシンなど）、筋部分であるコラーゲンの二成分に分けることができる。本論文では、筋肉部分の新たな利用方法を開発するため、筋肉タンパク質およびその加水分解物について骨粗鬆症の骨密度を改善する機能性食品としての効果に関する研究を行った。その結果、筋肉タンパク質加水分解物が破骨細胞の分化を抑制する事で骨密度を改善する可能性があることを明らかにした。以上の結果から、サメ肉の摂取により、骨粗鬆症の改善が期待できる機能性食品としての開発が可能となった。

本研究論文名は、「閉経後骨粗鬆症および変形性膝関節症に対するシャークプロテインの効果」「**Effect of shark protein on the progression of postmenopausal osteoporosis and knee osteoarthritis**」であったが、審査委員の指摘で、骨粗鬆症への効果に関する研究に集約した方が良いという判断のもと「閉経後骨粗鬆症に対するシャークプロテインの効果」「**Effect of shark protein on the progression of postmenopausal osteoporosis**」に変更した。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査会は、全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

学位論文名 変更前

「閉経後骨粗鬆症および変形性膝関節症に対するシャークプロテインの効果」  
「**Effect of shark protein on the progression of postmenopausal osteoporosis and knee osteoarthritis**」

学位論文名 変更後

「閉経後骨粗鬆症に対するシャークプロテインの効果」  
「**Effect of shark protein on the progression of postmenopausal osteoporosis**」